

No	日付	資料	ページ等	コメント内容	コメント対応	回答日	完了
1	7月24日	補足説明資料	21	環境疲労評価において余裕が小さい機器の対応について説明すること。(一次冷却材ポンプケーシング吐出ノズル、蓄圧タンク出口第2逆止弁弁箱等)	回答資料 高浜3, 4号炉-低サイクル疲労-1のとおり。		
2	7月24日	補足説明資料	7-111	応力評価点の図において青枠が重なって、評価点が見えない部分について修正すること。	応力評価点の図を修正する。 [補足説明資料 P.7-111]		
3	7月24日	補足説明資料	7	表2の対象部位の選定理由について上部蓋は建設時工認評価部位となっている。上部蓋は取替工事が行われているが評価部位の変更はないのか、説明すること。	回答資料 高浜3, 4号炉-低サイクル疲労-3のとおり。		
4	7月24日	補足説明資料	4-1	RVのクラッドの現状保全として実施している、目視確認の具体的な方法と結果を説明すること。加えて、目視確認において、どの程度の範囲を確認できているかを示すこと。			
5	7月24日	補足説明資料	17、21	環境疲労評価手法による疲労累積係数の解析において、クラッドに傷がない原子炉容器では炉内計径筒の0.002が最大値であるが、21頁に記載の評価対象機器では疲労累積係数が高い部位が複数記載され、その中で上記のスイング逆止弁の他、例えば一次冷却材ポンプケーシング吐出ノズルは0.765である。環境疲労評価手法で高い値を示す機器・部位が補足説明資料に記載の代表機器に選ばれなかった理由について説明し、補足説明資料に記載すること。	何れの機器においても、「3.2評価手法」に示す評価フローおよび適用規格、ならびに「4.1健全性評価」に示す過渡条件の設定は同様であり、応力解析の荷重条件は別紙7に各機器毎に記載していることから、「3.1評価対象」に記載しているとおり、プラント安全上最も重要と考える「原子炉容器」を補足説明資料上の代表機器としている。		
6	7月24日	補足説明資料	23	一次冷却材ポンプケーシング内面の目視点検(VT-3)において、検査範囲/頻度は100%/7年(1台)の記載があるが、この記載の意味するところについて説明すること。	維持規格に基づきクラス1機器供用期間中検査として実施しているものである。 一次冷却材ポンプ計3台のうち1台について、7年を超えない間隔で検査を実施している。		

高浜3、4号炉－低サイクル疲労－1

<p>タイトル</p>	<p>環境疲労評価において余裕が小さい機器の対応について説明すること。                  (一次冷却材ポンプケーシング吐出ノズル、蓄圧タンク出口第2逆止弁弁箱等)</p>
<p>説明</p>	<p>推定過渡回数に十分な裕度(1.5倍)を考慮し運転開始後60年時点の疲労累積係数を算出しており、健全性に問題はないと考える。                  また、高経年化への対応として、実績過渡回数の確認を継続的に実施し、運転開始後60年時点の推定過渡回数を上回らないことを確認することとしている。</p>

高浜 3、4号炉－低サイクル疲労－3

タイトル	表 2 の対象部位の選定理由について上部蓋は建設時工認評価対象となっている。上部蓋は取替工事が行われているが評価部位の変更はないのか、説明すること。
説明	原子炉容器上部蓋取替工事工認の評価部位を添付 1 に示すが、評価部位に上部蓋（上部ふた）を挙げており、建設時工認評価部位からの変更はない。

経済産業省

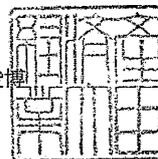
平成17・11・08原第4号

平成17年12月22日

関西電力株式会社

取締役社長 森 詳介 殿

経済産業大臣 二階 俊博



高浜発電所第3号機の工事計画の認可について

平成17年11月8日付け関原発第283号をもって申請がありました上記の件については、電気事業法第47条第1項の規定に基づき、認可します。

# 工事計画認可申請書

(高浜発電所第3号機の変更の工事)

関原発第283号  
平成17年11月8日

経済産業大臣  
二階俊博 殿

大阪市北区中之島3丁目6番16号  
関西電力株式会社  
取締役社長 森 詳



電気事業法第47条第1項の規定により別紙工事計画書のとおり工事の計画の認可を受けたいので申請します。

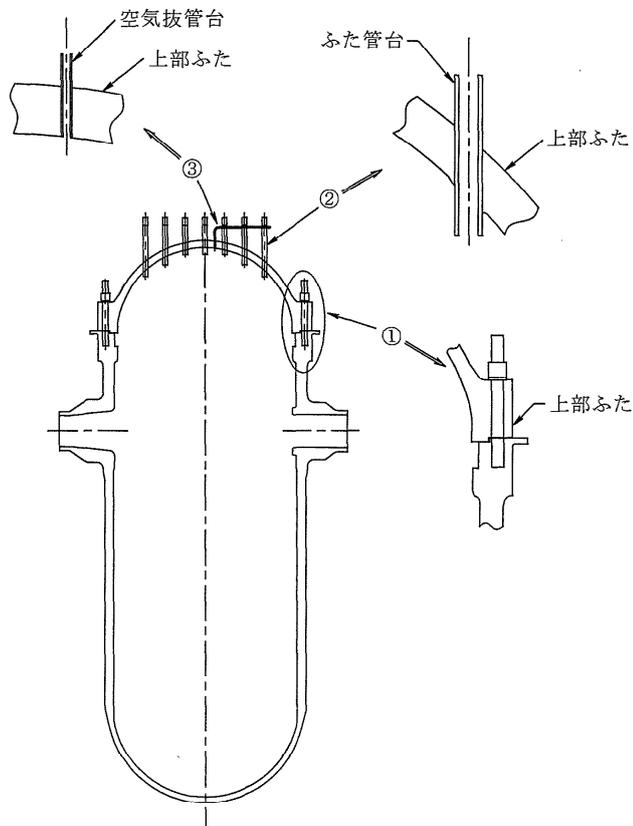
資料2-3-1 原子炉容器上部ふたの強度計算結果

60-3

### 3. 解析箇所

原子炉容器上部ふたの応力解析は、第3-1図「原子炉容器上部ふたの応力解析箇所」に示す代表箇所において、強度評価上厳しくなる材料及び構造上の不連続部を選定して行う。

- ①上部ふた
- ②ふた管台
- ③空気抜管台



第3-1図 原子炉容器上部ふたの応力解析箇所

96-J